

DS-0223 リアルタイムオクターブソフト

MI-1233 マイクロホンと MI-3110 プリアンプの単位校正の方法

DS-0223 リアルタイムオクターブソフト

MI-1233 マイクロホンと MI-3110 プリアンプの単位校正の方法

MI-1233 マイクロホン + MI3110 プリアンプを DS-2100 データステーションに直接接続する場合に、SC-31000 音響校正器（音圧レベル 124dB、250Hz）を使って音圧レベル dBspl に単位校正する方法を説明します。



SC-3100 音響校正器



MI-1233 マイクロホン
+
MI-3110 プリアンプ



DS-2100 シリーズデータステーション
+
DS-0223 リアルタイムオクターブソフト

■ 操作手順

1. ファイルメニューから、〔入力〕→〔電圧レンジ設定〕→〔入力源設定〕を選択し、「入力」タブの各値を次のように設定します。設定が完了したら右下の「OK」ボタンをクリックします。

電圧レンジ	20dB
入力源	SENSOR (2.0mA)
オフセット	0dB
タイプ	Log



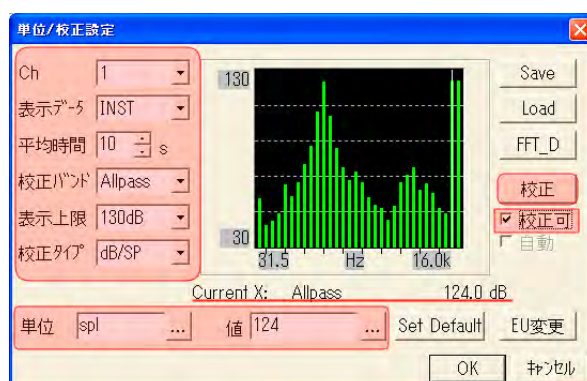
2. ファイルメニューから、〔入力〕→〔電圧レンジ設定〕→〔入力源設定〕を選択し、「時定数」タブの各値を次のように設定します。なお、校正時は、アナログフィルタは「FLAT」として下さい。

時定数	125ms (FAST)
アナログフィルタ	FLAT



3. SC-3100 音響校正器に MI-1233 マイクロホンをしっかり装着し、SC-3100 の電源を ON します。
4. ファイルメニューから、〔入力〕→〔単位校正〕を選択し、「単位 / 校正設定」ボックスで、各値を次のように設定するとともに、「校正可」をチェックします。「校正」ボタンをクリックすると、“Waiting” が点滅表示され、設定が終了すると、“X : Allpass Y : 124B” と表示されます。

Ch	1
表示データ	INST
平均時間	10s
校正バンド	ALLPASS
表示上限	130dB
校正タイプ	dB/SP
単位名	spl
値	124



最後に、右下の「OK」ボタンをクリックします。

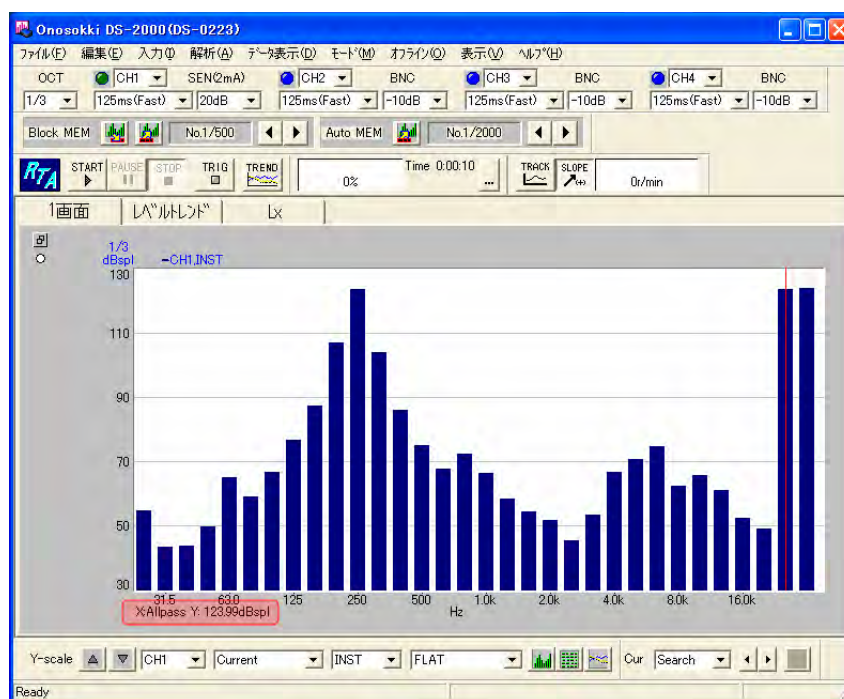
5. ファイルメニューから、〔データ表示〕→〔Y 軸スケール〕→〔XY 軸スケール設定〕を選択し、「Y 軸」タブの各値を次のように設定します。設定が完了したら右下の「OK」ボタンをクリックします。

上限レベル	130dB
レンジ	100dB



6. ファイルメニューから、〔データ表示〕→〔カーソル設定〕→〔カーソル〕→〔カーソルモード=Search〕を選択し、カーソルを AllPass に合わせます(マウスクリックまたは左右キー操作)。

次図は校正信号を 1/3 オクターブで測定したデータです。測定画面でも、測定画面でも、X 軸 Allpass、Y 軸：124dB になっていること確認します。



7. SC-3100 音響校正器の電源を OFF にします。以上で、校正は完了です。
8. 入力信号に適した電圧レンジを設定します（上記項目 1 を参照）。
9. 各種測定条件を設定し、測定を行います。

— 以上 —